

info-pack

株主の皆さまへ

第58期事業報告書
(2018年4月1日～2019年3月31日)



株主の皆さまへ

President's Message



代表取締役社長

下島 和光

株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第58期事業報告書（2018年4月1日から2019年3月31日まで）をお届けするに当たり、ご挨拶を申し上げます。

当期の連結売上高は476億96百万円と前期比1.6%増になりましたが、連結営業利益は6億70百万円で前期比56.3%減、連結経常利益は8億72百万円で前期比51.1%減、親会社株主に帰属する当期純利益は5億13百万円で前期比53.1%減となりました。

これは、市場の新規開拓・深耕活動や特注品の受注活動、通販サイト「シモジマオンラインショップ」のオープン等により売上が伸張した一方、原材料価格や、運賃や荷役料等の物流費が上昇し利益に影響したことによるものです。

期末配当は、昨年に引き続き1株につき11円、通期では22円とさせていただきます。

当社は、2020年1月をもちまして、創業100周年の節目を迎えます。これを受け、2020年3月期末におきましては、1株当たり5円の記念配当を実施する運びとなりました。これにより、2020年3月期の期末配当金は、普通配当11円に記念配当5円を加え1株当たり16円とし、通期では中間配当11円を合わせた27円とする予定でございます。

当社が包装用品業界の草分けとして今日を迎えることができたのは、株主の皆さまをはじめ、関係者の皆さまの長年にわたるご支援、ご協力の賜物でございます。心から感謝申し上げます。今後も、「お客様のニーズに迅速かつ的確にお応えする」を基本理念に、事業に邁進したいと存じます。何卒宜しく願い申し上げます。

2019年6月

社是

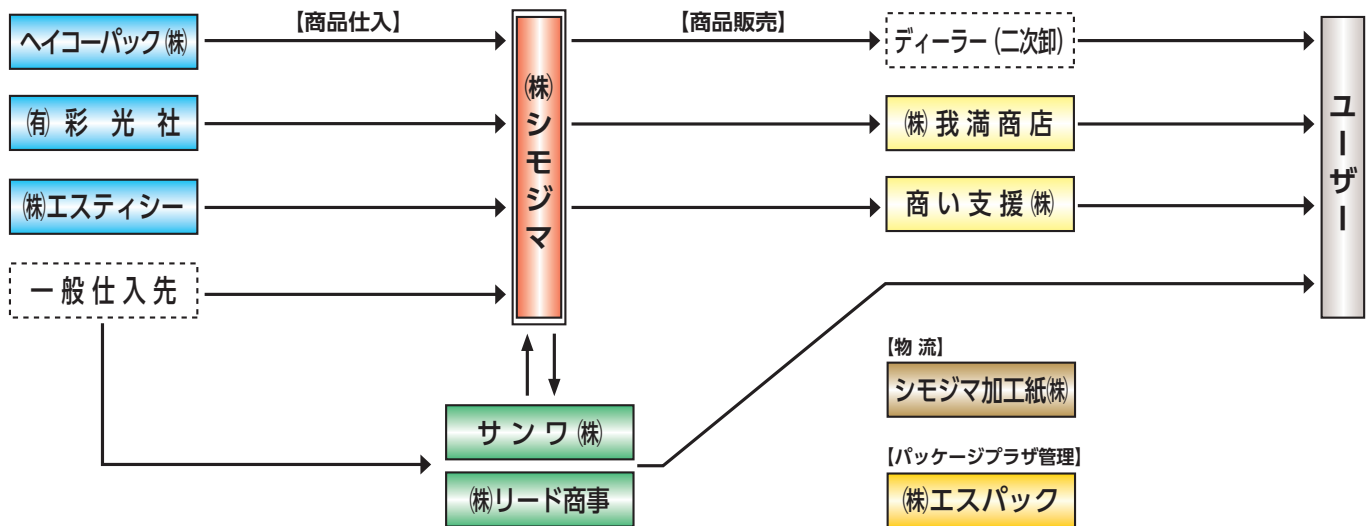
・誠意・熱意・創意

経営理念

- 一、包装用品とこれに関連する事業を通じ快適な社会づくりに貢献する
- 一、常に顧客のニーズに応え創意工夫による市場拡大に努める
- 一、たえず経営の合理化と積極販売に努力し企業の発展を図る
- 一、社員の楽しく健康的な生活を確保する

中長期方針

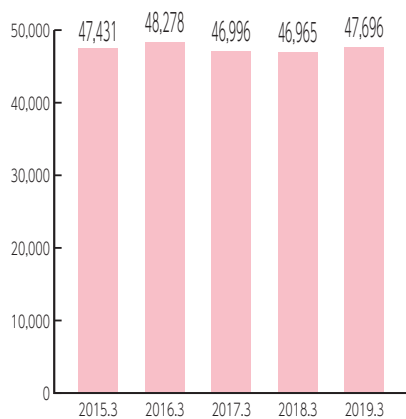
1. 事業の拡大
シェア、チャネル、顧客層の拡大
2. 経営基盤の強化
3. 経営体制の強化



損益の状況

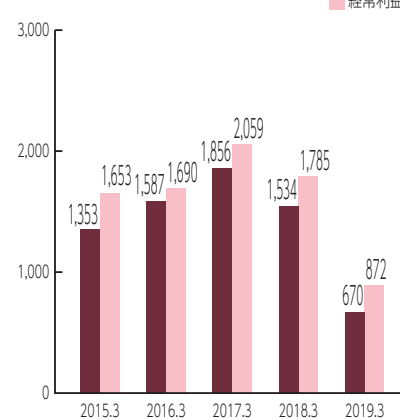
● 連結売上高

(単位:百万円)



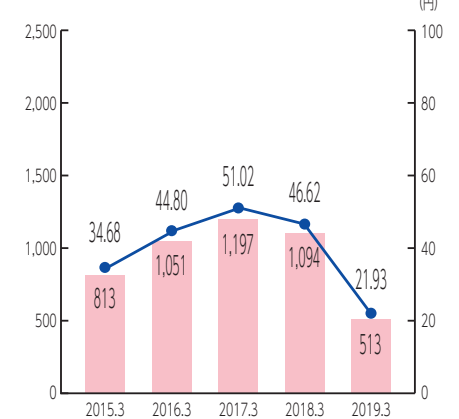
● 連結営業利益・連結経常利益

(単位:百万円)



● 親会社株主に帰属する当期純利益・連結1株当たり当期純利益

(単位:百万円・円)



記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

事業セグメントの概況

■ (紙製品事業)

連結売上高 93億6百万円
(前期比1.4%減)

<主要な商品>
紙袋、包装紙、紙器



■ (化成品・包装資材事業)

連結売上高 259億41百万円
(前期比2.2%増)

<主要な商品>
ポリ袋、粘着テープ、その他包装資材等



■ (店舗用品事業)

連結売上高 124億49百万円
(前期比2.5%増)

<主要な商品>
文具事務用品、POP用品、店飾雑貨等



1. オムニチャネル

当社は、前期より新たに独自のシモジマ型オムニチャネル政策に取り組んでおり、その成果として新たに2018年7月にECサイト「シモジマ オンラインショップ」をオープンしたほか、スマートフォン向けアプリ「シモジマ パッケージプラザ」を開発いたしました。

お客様との間のインターフェイスを一新させた成果といたしまして、今般、EC（電子商取引）関連事業の売上高は、前期比で約50%増と好調に推移しております。

今後はアプリ会員の増加を目指してさらに活動を展開し、さらには店舗の来店客数の増加につなげていくべく顧客対応の有機的連動を図ってまいります。



▲シモジマオンラインショップ TOPページ



▲アプリ「シモジマ パッケージプラザ」



◀アプリの登録手順に関するQRコード

2. 新たなニーズへの対応

昨今におきましては、わが国の流通は大きな変貌を遂げつつあります。具体的には、情報処理技術の発展に伴い、電子商取引（EC）による通信販売が劇的な発展を遂げているほか、スマートフォンを利用した個人間（CtoC）による物品の売買を行える「フリマアプリ」の普及、外食産業においては、共働き・単身世帯・高齢者の増加により「テイクアウト」「フードデリバリーサービス」の利用が広がっています。

これに対して、当社といたしましては、このような新しい動向を踏まえた商品開発を強化したいと考えております。

具体的には、EC事業者向けの「ネット通販資材」や、フリマアプリの最大手メルカリ様とタイアップした「フリマアプリ向け梱包用品」の特集を用意し、関連商材をご案内しております。また、「テイクアウト」の関係では、環境にも配慮した「ペーパーストロー」や竹素材でできた食品容器「エコバンブー」など、新しい食品包材の開発を行いました。

以上に加えて、今後需要増が期待される「フードデリバリーサービス」に関しましては、世界最大手のUberEats様と新たに提携し、展示会では共同販促を行いました。



▲「スーパーマーケット・トレードショー2019」にてUberEats様とコラボ

3. スポーツへの協賛

当社では、社会における健康の普及の基盤といたしまして、スポーツの価値を尊重しかつ重視しております。その一環として、従業員に対しては関連部活動や地域大会への参加を奨励しているほか、新たにスポーツ事業への協賛も行っております。

当社は、東京ヤクルトスワローズ様のオフィシャルスポンサーとなっておりますが、新たに阪神タイガース様のレギュラーパートナーとなりました。明治神宮球場と甲子園球場におきましては、看板広告として当社のロゴを掲示していただいております。

また、2018年7月には、東京ヤクルトスワローズ様の人気キャラクター、つば九郎を当社浅草橋本店にお迎えし、参加型のイベントを開催し活況を呈しました。さらに、阪神タイガース様との間では、関連グッズを心斎橋店にてコーナー展開したほか、コラボレーション商品として、オリジナルのマスクングテープを企画・販売しております。

4. 消費電力量に関する状況

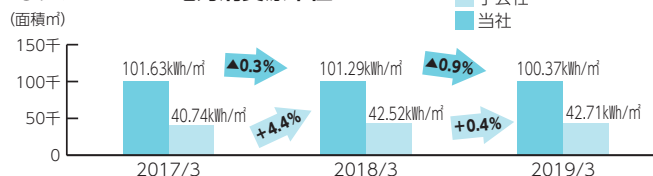
当社では、引き続き電力消費の抑制を、CSRの重要課題として取り組んでおります。

具体的には、従業員が節電活動を行っているほか、店舗等でのLED導入等を適宜進めております。

今期におきましては、グループの消費電力量は8,060千kWhとなり、前期比0.1%増加となりました。原単位として当社は、設備面積当たりの消費電力量を指標としております。同指標の推移といたしましては、当社単体で100.37kWh/m²となり前期比で0.9%の減少となり、子会社では42.71kWh/m²で0.4%増、グループ全体では63.89kWh/m²となり前期比で0.2%の減少となりました。当社のCO₂排出量は、2,223t-CO₂となり（調整後排出係数換算）、0.8%の減少となりました。

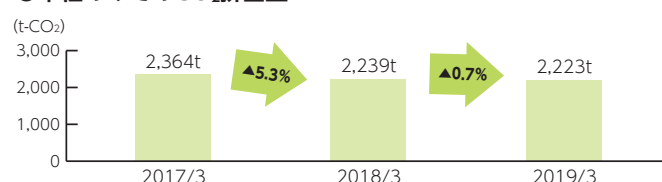
今後も省エネルギーの努力を進めてまいりたいと存じます。

●グループでの電力消費原単位



*小数点2位以下を切り捨てております。

●本社のみでのCO₂排出量



*調整後排出係数換算：環境省・経済産業省の省令に基づき算出された係数で換算しています。
*小数点2位以下を切り捨てております。

5. 容器包装リサイクル法への対応

当社は、従前より、包装の利用による環境の負荷について認識しており、その対応の一環として、容器包装リサイクル法への対応に取り組んでいます。具体的には、特定事業者として再商品化委託料を公益財団法人日本容器包装リサイクル協会にお支払しているほか、容器包装多量利用事業者として、排出抑制に関する報告書を関東経済産業局に提出しています。

排出抑制に関して、声掛けのほか、お客様向けのポリ袋の薄肉化や紙袋のサイズの適正化等の努力を継続している等、今期も以下のような各種環境対応型商品の開発に取り組みました。

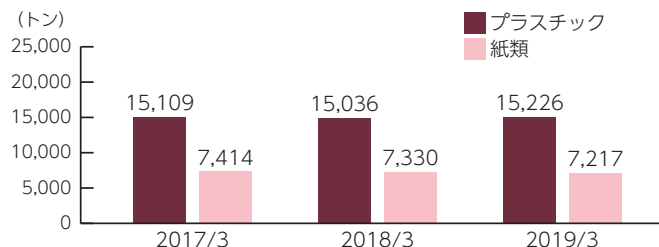


▲回収紙袋から再生した紙袋「エコデュオ」



▲再生紙を使用した
ショーカード・ポスター・リボン

容器包装リサイクル法対応による取り扱い容器包装資材の量の推移



■ 新商品のご紹介

New Products

1. 竹から生まれた「エコバンブー」

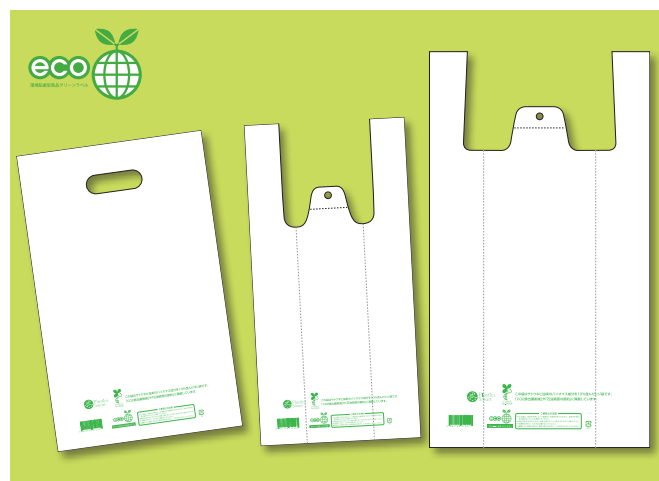
竹素材でできた埋めると土に還る食品容器。
水や油に強く、電子レンジでも使用可能です。



▲エコバンブー

2. 「グリーンHDポリ・グリーンEFハンド」でCO₂を削減

サトウキビ由来のバイオマス成分を含んだポリ袋です。
原料のサトウキビは大気中のCO₂を吸収します。



▲グリーンHDポリ

▲グリーンEFハンド

3. 衛生的な「アウトハンドルバッグ」

袋上部が折り返せて異物が入らず、衛生的な紙袋です。



▲アウトハンドルバッグ

4. 環境にやさしい「PLA透明カップ・ペーパーストロー」

環境にやさしい生分解するPLA原料からできた透明カップと
紙製のストローです。



▲PLA透明カップ

▲ペーパーストロー

◆連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

| 科目 | 期別 | 前期 (2018年 3月31日現在) | 当期 (2019年 3月31日現在) | 科目 | 期別 | 前期 (2018年 3月31日現在) | 当期 (2019年 3月31日現在) |
|-----------|----|--------------------------|--------------------------|---------------|----|--------------------------|--------------------------|
| (資産の部) | | | | (負債の部) | | | |
| 流動資産 | | 22,470 | 21,898 | 流動負債 | | 4,359 | 4,363 |
| 現金及び預金 | | 10,765 | 9,619 | 支払手形及び買掛金 | | 2,148 | 2,167 |
| 受取手形及び売掛金 | | 5,439 | 5,435 | 短期借入金 | | 33 | 28 |
| 電子記録債権 | | 521 | 604 | 1年内返済予定の長期借入金 | | 2 | 2 |
| 商品及び製品 | | 4,805 | 4,994 | リース債務 | | 130 | 101 |
| 原材料及び貯蔵品 | | 559 | 610 | 未払法人税等 | | 449 | 303 |
| その他 | | 387 | 642 | 賞与引当金 | | 369 | 359 |
| 貸倒引当金 | | △9 | △6 | 役員賞与引当金 | | 34 | 26 |
| 固定資産 | | 17,500 | 17,696 | その他 | | 1,191 | 1,375 |
| 有形固定資産 | | 13,406 | 13,578 | 固定負債 | | 2,105 | 2,089 |
| 建物及び構築物 | | 4,709 | 4,532 | 長期借入金 | | 7 | 5 |
| 機械装置・運搬具 | | 232 | 434 | リース債務 | | 474 | 395 |
| 土地 | | 7,361 | 7,549 | 繰延税金負債 | | 2 | — |
| リース資産 | | 990 | 881 | 再評価に係る繰延税金負債 | | 277 | 277 |
| その他 | | 111 | 179 | 退職給付に係る負債 | | 1,045 | 1,118 |
| 無形固定資産 | | 673 | 792 | 資産除去債務 | | 37 | 37 |
| リース資産 | | 102 | 65 | その他 | | 261 | 254 |
| その他 | | 570 | 727 | 負債の部合計 | | 6,465 | 6,452 |
| 投資その他の資産 | | 3,421 | 3,325 | (純資産の部) | | | |
| 投資有価証券 | | 687 | 457 | 株主資本 | | 39,227 | 38,987 |
| 長期貸付金 | | 245 | 264 | 資本金 | | 1,405 | 1,405 |
| 繰延税金資産 | | 416 | 497 | 資本剰余金 | | 1,304 | 1,304 |
| その他 | | 2,216 | 2,249 | 利益剰余金 | | 37,397 | 37,394 |
| 貸倒引当金 | | △144 | △142 | 自己株式 | | △879 | △1,117 |
| 資産の部合計 | | 39,971 | 39,595 | その他の包括利益累計額 | | △5,807 | △5,947 |
| | | | | その他有価証券評価差額金 | | 401 | 254 |
| | | | | 繰延ヘッジ損益 | | △17 | 7 |
| | | | | 土地再評価差額金 | | △6,195 | △6,195 |
| | | | | 退職給付に係る調整累計額 | | 4 | △14 |
| | | | | 非支配株主持分 | | 85 | 103 |
| | | | | 純資産の部合計 | | 33,505 | 33,142 |
| | | | | 負債及び純資産の部合計 | | 39,971 | 39,595 |

◆連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

| 科目 | 期別 | 前期 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|-----------------|----|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 売上高 | | 46,965 | 47,696 |
| 売上原価 | | 31,704 | 32,889 |
| 売上総利益 | | 15,260 | 14,807 |
| 販売費及び一般管理費 | | 13,725 | 14,137 |
| 営業利益 | | 1,534 | 670 |
| 営業外収益 | | 305 | 259 |
| 営業外費用 | | 54 | 56 |
| 経常利益 | | 1,785 | 872 |
| 特別利益 | | 16 | 47 |
| 特別損失 | | 78 | 55 |
| 税金等調整前当期純利益 | | 1,723 | 864 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 633 | 353 |
| 法人税等調整額 | | △18 | △20 |
| 当期純利益 | | 1,108 | 531 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | | 14 | 18 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1,094 | 513 |

◆連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

| 科目 | 期別 | 前期 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|--------------------------|----|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | | 1,437 | 656 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | | △463 | △908 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | | △654 | △893 |
| 現金及び現金同等物に係る 換算差額 | | 0 | 0 |
| 現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少) | | 319 | △1,145 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | | 10,263 | 10,583 |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | | 10,583 | 9,437 |

2020年3月期業績予想

(単位：百万円)

| 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 |
|--------|-------|-------|-----------------|
| 49,000 | 1,000 | 1,200 | 760 |

会社の概要 (2019年3月31日現在)

会社名 株式会社シモジマ
英訳名 SHIMOJIMA Co.,Ltd.
創業 1920年
設立 1962年4月26日
資本金 1,405百万円
本社 東京都台東区浅草橋五丁目29番8号
TEL 03-3864-0061(代表)

従業員数 (連結) 856名

(単独) 606名

*従業員数は就業員数であり、臨時雇用者は含んでおりません。

株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行済株式総数 24,257千株
発行可能株式総数 67,000千株
株主数 7,132名

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領
株主確定日 3月31日

中間配当金受領
株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 (連絡先)
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所 (第一部)

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告の方法により行います。但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告の掲載URL <https://www.shimojima.co.jp>

役員一覧 (2019年6月25日現在)

代表取締役社長 下島 和光
専務取締役上席執行役員 笠井 義彦 (営業統括本部長兼営業本部長)
常務取締役上席執行役員 下島 公明 (経営企画室長)
常務取締役上席執行役員 下島 雅幸 (管理本部長兼人事部長)
取締役上席執行役員 小野寺 仁 (商品統括本部長)
取締役上席執行役員 川原 利治 (販売本部長)
社外取締役 船井 勝仁 (独立役員)
社外取締役 梅野 勉 (独立役員)
常勤監査役 古橋 孝夫
常勤監査役 肥田 耕一
社外監査役 佐藤 裕一 (独立役員)
社外監査役 榎本 峰夫 (独立役員)
上席執行役員 下島 謙司 (グループ管理室長)
執行役員 工藤 弘行 (商品本部長)
執行役員 加藤 吉信 (管理本部副本部長兼経理部長)
執行役員 服部 進吉 (営業本部副本部長兼第一営業部長)
執行役員 島田 浩一 (販売本部副本部長)
執行役員 大貫 学 (営業本部副本部長兼第二営業部長)

当社は、2014年6月24日より執行役員制度を施行しています。

株主優待制度のご案内

当社では、株主様への感謝のしるしとして、下記の要領で株主優待制度を設けております。当社グループの取り扱い商品 (家庭で使用される雑貨) を贈呈いたしております。株主の皆さまにおかれましては、当商品をご愛用いただき当社グループの事業に対するご理解を深めていただければ幸甚に存じます。

- 対象
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記録された、当社株式を100株以上ご所有の株主様
- 優待内容
1,000株以上ご所有の株主様に対して、一律に希望小売価格5,000円相当の当社取り扱い商品で家庭で使用される雑貨類詰め合わせを1セット贈呈。
100株以上1,000株未満ご所有の株主様に対して、一律に1,000円のクオカードを1枚贈呈。
- 発送時期
毎年、6月中旬より順次発送

以上



(写真は2018年度の株主優待品です。内容は変更することがございます。)

株式会社 シモジマ

〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-29-8
TEL.03(3864)0061(代表) FAX.03(3865)4470
URL <https://www.shimojima.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



本報告書は以下のような環境配慮をして印刷・製本しています。
製版工程では、使用後に廃材となるフィルムを使用しない、ダイレクト製版 [CTP (Computer to Plate)] を用いています。
印刷工程では、VOC (揮発性有機化合物) の発生が少なく生分解性に優れた植物油インキを使用しています。